

むかいしま ゆた しぜん い

『向島の豊かな自然と生きもの』

第62回「シンジュキノカワガと車にはねられたチョウ」

2024年、1年365日。みんなと同じ時間と月日が経ちました。

例年ならば虫もたくさん集まっているのですが、今年は昆虫採集を控えてみました。理由は、知れば知るほど虫の世界は広くて深くて厚みもあり、私のように広く浅く好奇心の興味だけではなかなか手ごわい虫達。とてとてと…なんとなくお手上げ！まいった参りましたっ！！って感情になってきた。それでも好きな種を追いかけているけど、標本箱の整理や維持管理もむずかしくなってきたのでちょっと休憩！みたいな。

そうは言いながらも、夏シーズンには高見山で灯火採集を行いました。

天候不良などがあって予定していた日程が減り、採集回数はわずか2回にとどまりました。

灯火採集は、例年5月の新月前後から始め8月末でやめていましたが、今年は初めて9月の末に行い虫好き家族の方々と楽しみました。

その夜は珍しい蛾がたくさん集まり、カブトムシやクワガタまで飛んできてみんなで喜びました。「珍しい蛾」としましたが、シンジュキノカワガという普通種で、幼虫はシンジュ(ニガキ科の樹木。別名ニワウルシ)を食べて群棲していると図鑑に記してありました。

その蛾が多数集まり、その美しさにうっとりします。翅の模様の不思議さもさることながら、20年以上灯火採集を続けていてもその夜ほどシンジュキノカワガが集まったことはなく、その数に感激し虫集めの楽しさをあらためて感じました。

今回は少ない虫ながらも兵庫県の友人から贈られてきた虫と、灯火採集にたくさん集まったシンジュキノカワガと、目の前で起きた車の衝突事故であえなく命を落としたチョウを中心に、本年2024年の締めくりにさせていただきます。

明石公園産の虫については、他県のことであり詳しくありませんが、標本展示することで贈っていただいたお礼と感謝と敬意を表したいと思います

※生き物が事故にあうって事について考えてみた。

車がいつ頃から走っていたのか？100年や200年ほど前??

その頃に向島に自動車が走っていたかどーか？！

100年前に車が走っていたとしても、未舗装のガタガタ道じゃし、車のスピードだって今とは全然違うだろうから、チョウが車とぶつかっても命を落とす事はなかったじゃろう。

田んぼの間の舗装道も出来てなかったら、カエルが、カメが、ヘビやその他の生き物がひかれる事もなかったと思う。

交通事情という面からだけ見ても、たった100年で虫達を取り巻く環境は大きく変わっている。

地球温暖化よりも心が痛い。私だけの感情でしょうか。

はな とり こんちゆう うみべ あそ
～ 花と鳥と昆虫と海辺に遊ぶ ～
つるかめクラブ 江頭 正